



四人制審判

クロックワイズメカニクス



習志野市少年野球連盟

平成28年4月

Ver. 1.00



◇最初に。

1. 審判員として。

- ・試合中は、審判員に徹する事。・・・選手を指導する言動は厳禁。(プレイに公平であること)
- ・二日酔いや、体調が悪い時には担当しないこと。(正常なジャッジは出来ない。)
- ・試合中は疲れていても爽やかな姿勢をしなさい (周囲は審判員を見ている)。
- ・常にきびきびとした行動をとること。
- ・常に「野球規則」を学習すること。(野球の本質：フェアであるべき野球を考えること。)
- ・プロ野球の真似はしない。アマチュア野球の基本に忠実に。
- ・試合(人のプレイ)を裁くのだから、自分がきちんと自覚と責任を持たなければ。
- ・ベンチ等からクレームが出る原因・・・(ジャッジのタイミング、ジャッジまでの姿勢、ポジション他)

2. 判定(ジャッジ)

- ・アウト、セーフのジャッジは、ベストのポジションで、事実を確認して、慌てずに、急がずに。
- ・自分では格好良いジャッジと思っていても、はたから見ると、みっともないもの。
- ・予測やタイミングでのジャッジは厳禁！
- ・ジャッジの後も、常にボールから目を離さない。(ボールの有る所にプレイが有る。)
- ・プレイは続く。次々と起こるプレイを予測する意識と行動を！
- ・タッチアップ！しっかりとしたポジションでのジャッジでなければ信用されない。

[参考]

本資料の「クロックワイズメカニクス(4人制)」は、「審判メカニクスハンドブック第4版」(2012年度全日本野球会議審判技術委員会)を参考に編集しています。

編集：習志野市少年野球連盟審判部

本資料は、全国のお父様方が子ども達の野球の審判をする際、クロックワイズのメカニクス・審判の心得などご理解頂き、正確な判定をして頂けるよう、各地の団体様の作成された資料、及び各種資料などを参考に編集作成しました。有効に活用頂ければ幸いです。但し、営利目的での使用、コピーは厳禁です。

習志野市少年野球連盟

◇ ストライクゾーン

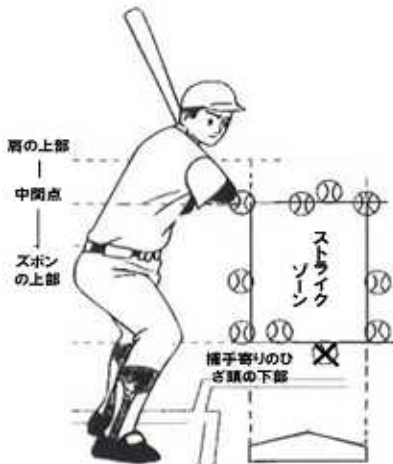
【野球規則】

◇ 〈2.7 3 (b)〉

打者が打たなかった投球のうち、ボールの一部分がゾーンのどの部分でもインフライトの状態通過したもの。

◇ 〈2.7 4〉

打者の肩の上部とユニホームのズボンの上部との中間点に引いた水平のラインを上限とし、膝頭の下部のラインを下限とする本塁上の空間。



(千葉県少年野球指導)

○捕手寄りの足の膝頭を基準：このストライクゾーンは打者が投球を打つための姿勢で決定される。「打つための姿勢」とは、打者が踏み出して打とうとする時の姿勢を言う。

○上限と下限：上限はボールの一部がストライクゾーンに触れること。下限はボール全体がストライクゾーンを通過すること。

◇ 4人制審判の取り決め事項

1. ポジショニング

(1) 2塁塁審

- ・走者無し、走者3塁の時2塁塁審は、2塁ベース後方(「外」)に位置する。
- ・走者1塁、2塁、1・2塁、1・3塁、2・3塁、満塁の時は、1・2塁間(走者1塁又は1・3塁の場合は2・3塁間でもよい)の内野(「中」)に位置する。
- (内野手が前進守備で邪魔になる場合は、「塁間ライン上」に位置する。)

(2) 1塁塁審、3塁塁審

いずれの場合もファールラインの外側に立つが、3塁に走者がいる場合、3塁塁審はラインを跨ぐ。(打者のスイング確認のため)。

2. 外野への打球の責任範囲(塁審)

A. 2塁塁審が「外」に位置した時。

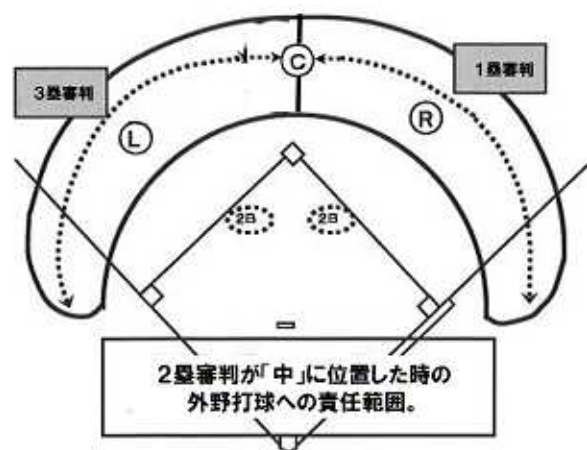
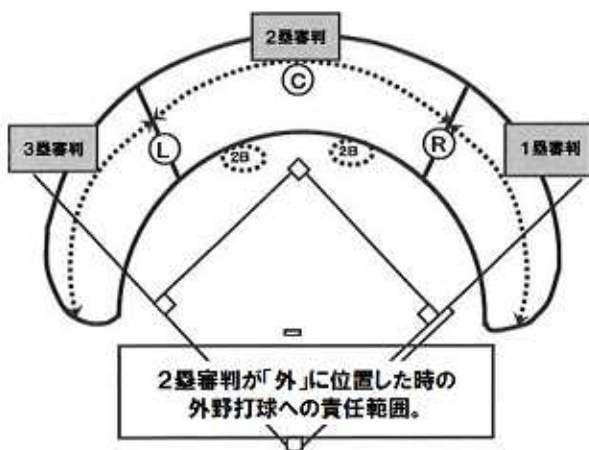
- (1) 左翼手守備位置より左側の打球…………… 3塁塁審
- (2) 左翼手守備位置正面の前後から右翼手正面の前後までの打球…………… 2塁塁審
- (3) 右翼手守備位置から右側の打球…………… 1塁塁審

B. 2塁塁審が「中」に位置した場合… 2塁塁審は外野への打球は追わない。(責任は持たない)

- (1) 中堅手より向かって左側の打球…………… 3塁塁審
- (2) 中堅手正面・背後(県少年野球連盟指導)から右側の打球…………… 1塁塁審

C. 外野への打球を追った塁審は打球を確認した後、その場に留まり(ステイ)、担当していた塁は他の審判に任せる。

カバーに行った審判は、その審判(追った塁審)が戻るまでその塁を離れてはいけない。(引継ぎをする)



3. 「球審」の動き

- (1) 走者無し、走者1塁の場合は3塁をカバーする動き方がある。
- (2) 走者が2塁または3塁(スコアリングポジション)にいる時は、本塁にとどまる。(ステイ)

◆ 審判上の基本的な取決め事項

1. 球審のジャッジ責任範囲

ア.内野内の打球（フライ・ライナーを含む）

イ.1・3塁ベース前面までのライン際への打球

2. 1塁塁審のジャッジ責任範囲

ア.1塁ベースを含む以遠のライン際の打球

イ.右翼側の外野方向のファール飛球

3. 3塁塁審のジャッジ責任範囲

ア.3塁ベースを含む以遠のライン際の打球

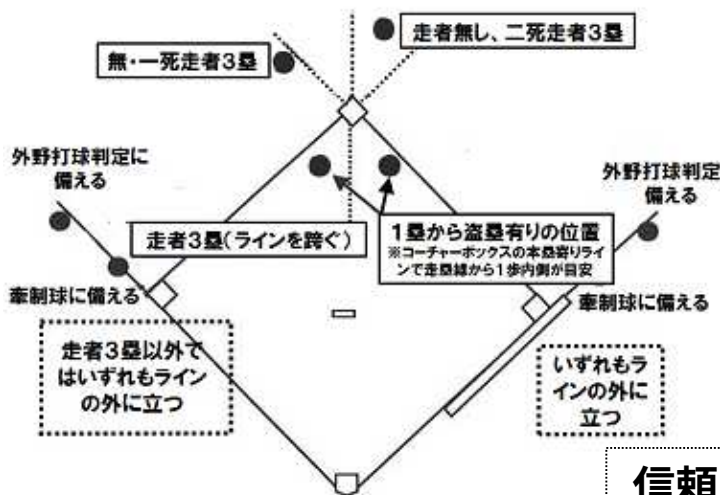
イ.左翼側の外野方向のファール飛球

（注）ファールフライは、捕球の確保、際どい落球等を確認できる位置に動いてジャッジすること

◆ 塁審の立つ位置

2塁塁審：走者無し、走者3塁の場合は「外」
上記以外は「中」

（注）「中」では本塁に正対し、決してしゃがみこまないこと

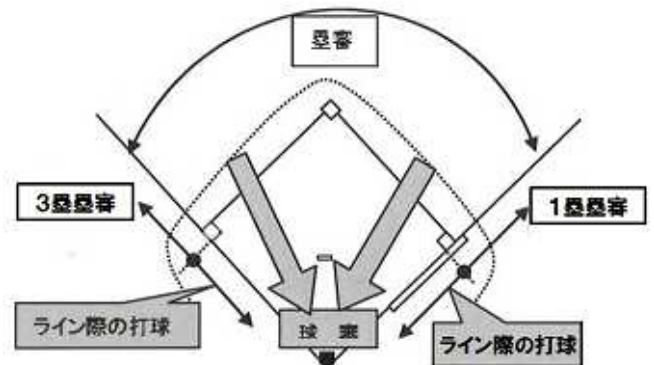


【基本（取決め）】

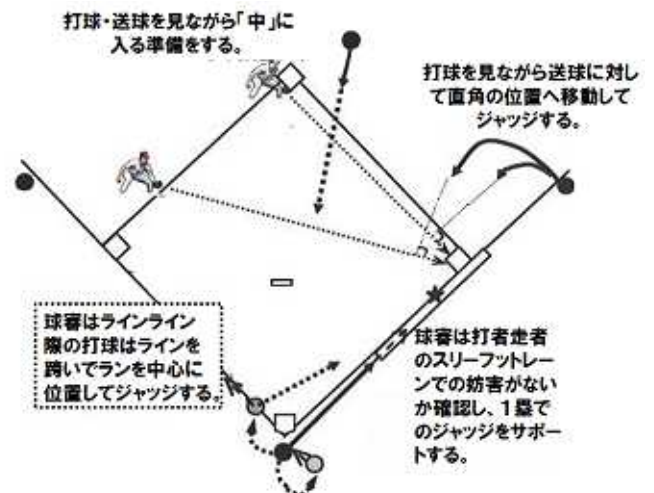
異なる2つのジャッジをしないため

外野へのトラブルボールは追って確認する。
（塁審の責任）

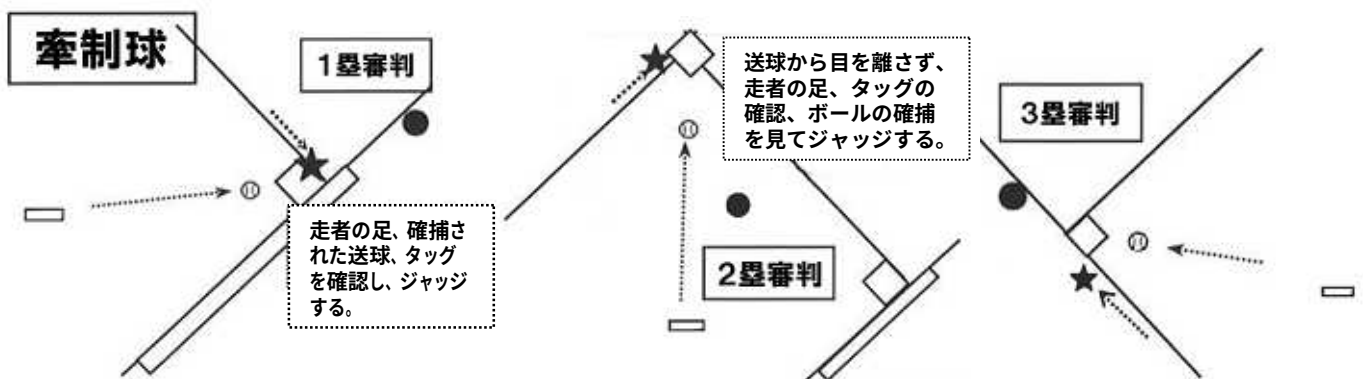
1. 右翼線または左翼線寄りの打球
2. 外野手が前進して地面すれすれで捕る打球
3. 外野手が背走するフェンス際の打球
4. 外野手が集まる打球



【走者なし（内野への打球）】



信頼される行動（位置、角度）を！



クロックワイズメカニックス (4人制)

習志野市少年野球連盟編集 全日野球会議審判技術委員会参照

【4人制クロックワイズメカニックス】

- ◇ポイント① 2塁塁審は「外」……走者無し又は3塁の時
- ◇ポイント② 2塁塁審は「中」……走者1塁、2塁、1・2塁、1・3塁、2・3塁、満塁の時
- ◇ポイント③ 球審は「本塁のプレイに備える」…走者がスコアリングポジションの時
※無死・一死で走者が3塁にいる場合で、3塁塁審が打球を追った場合、球審は3塁走者のタッグアップを確認する必要あり
- ◇塁審は外野への打球を追ったら、プレイが落ち着くまで、そこに留まっている。

<注>

●プレイに備える

打球及び送球の行方を確認し、走者の行動を観察しながら塁上のプレイに備えること。

●プレイがひと段落するまで

打球が処理され、野手から内野方向に返球されるまでをいう。

●すべてのプレイ

触塁、タッグアップ、ランダンプレイ等をいう。

●リミング

1塁塁審が1・2塁を結ぶラインの外側から1・2塁のプレイに備えるため、打者走者の背後を追うこと。

※走者がスコアリングポジションにいることにより球審が本塁のプレイに備えるためステイとき、外にいる2塁塁審又は3塁塁審が中堅手から左側の打球を追った場合

※例示：★…走者 ●…審判位置

①【走者なし】左翼手より左の打球を3塁審判が追った場合

◎アドバイス

【主審】

打球の行方と3塁塁審の動きに注目し、打者走者の進塁、塁上のプレイに備えるのに相応しいコースで3塁に向かう。

【1塁塁審】

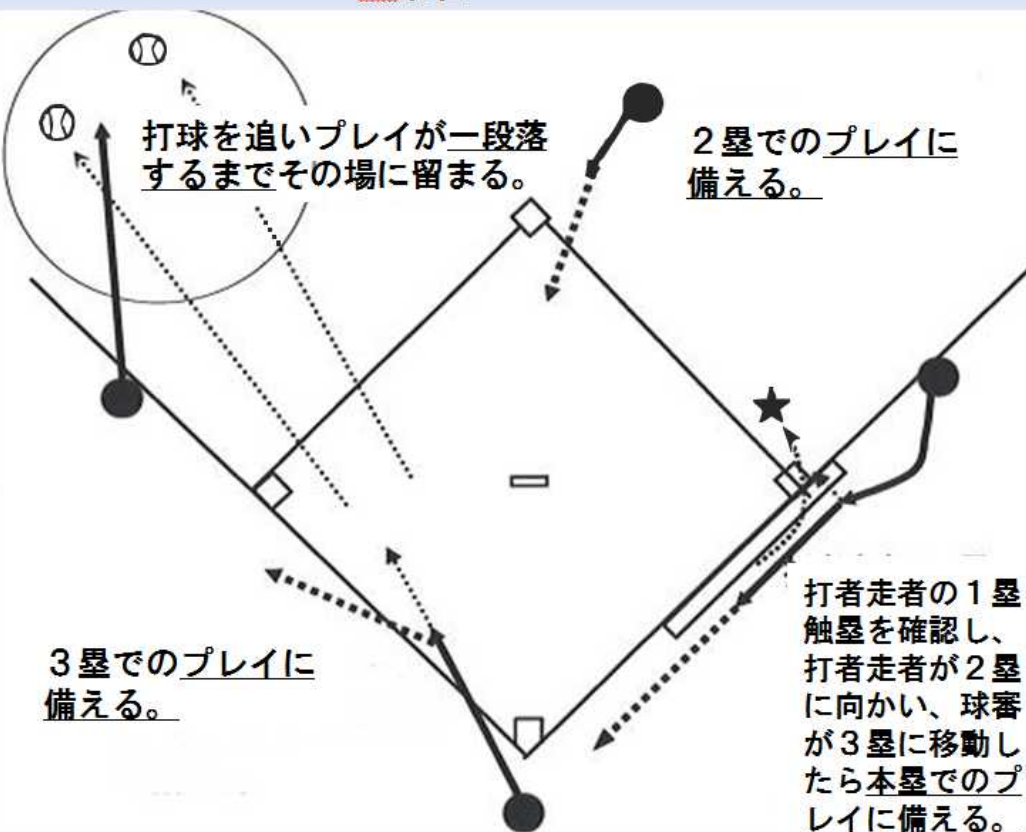
—

【2塁塁審】

打球・送球を見ながら、2塁でのプレイをジャッジするのに、相応しい位置をとる。

【3塁塁審】

打球を追う場合は走りながらボールを目で追い、捕球前には必ず静止して見定めることが肝心。



②【走者なし】右翼手より右の打球を1塁審判が追った場合

◎アドバイス

【主審】

打球の行方と1塁塁審の動きに注目し、打者走者の1塁触塁を確認する。

【1塁塁審】

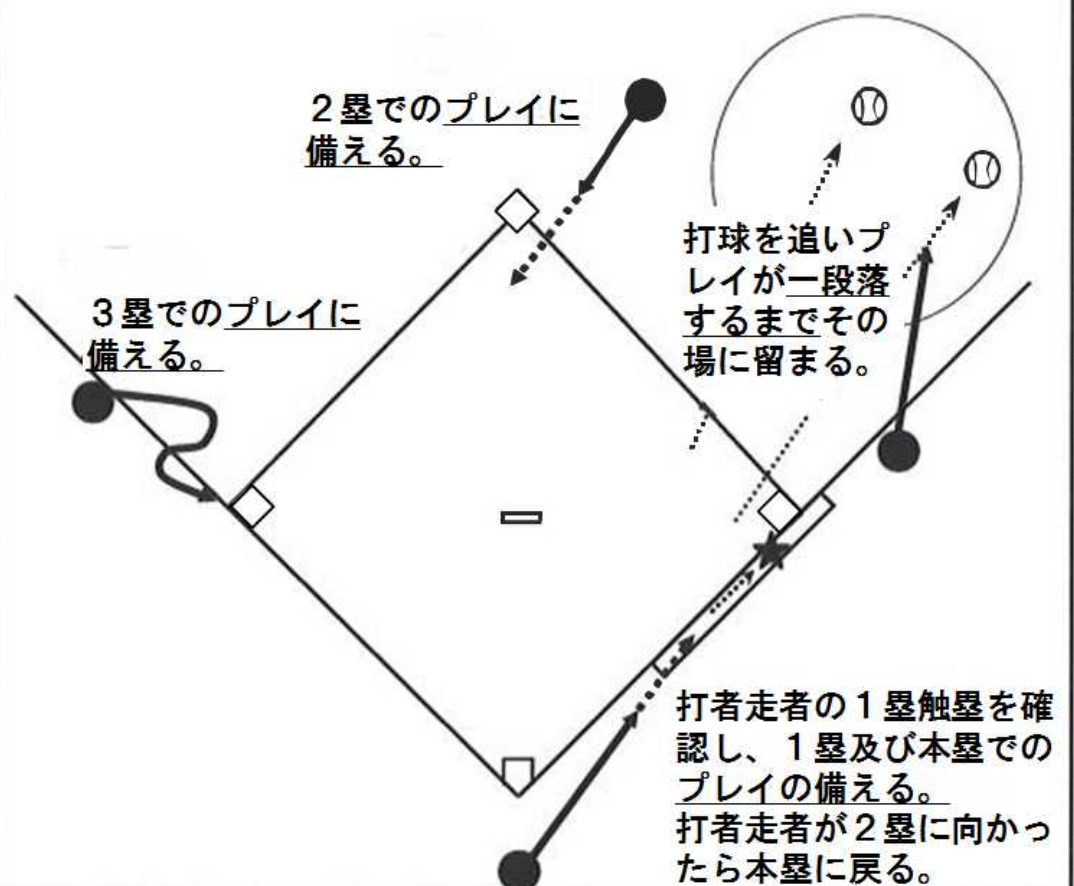
打球を追う場合は走りながらボールを目で追い、捕球前には必ず静止して見定めることが肝心。

【2塁塁審】

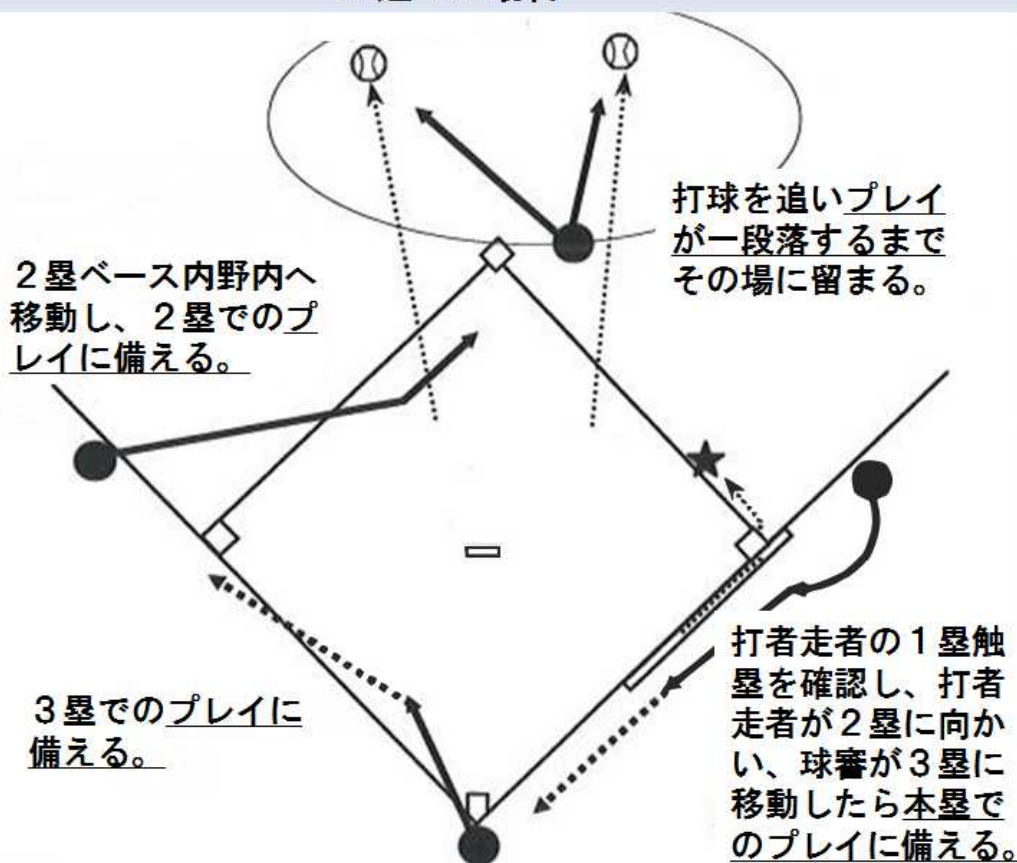
内野内のポジション付近を目標に入り、打者走者の1・2塁間及び2塁でのプレイをジャッジするのに、相応しい位置をとる。

【3塁塁審】

—



③【走者なし】 右翼手～左翼手までに打球を2塁審判が追った場合



◎アドバイス

【主審】

打球の行方と3塁塁審の動きに注目し、打者走者の進塁、塁上のプレイに備えるのに相応しいコースで3塁に向かう。

【1塁塁審】

—

【2塁塁審】

打球を追う場合は走りながらボールを目で追い、捕球前には必ず静止して見定めることが肝心。

【3塁塁審】

打球の行方を見ながら、遊撃手前を目標に2塁カバーに走り、ジャッジするのに、相応しい位置をとる。

◎アドバイス

【主審】

打球の行方と3塁塁審の動きに注目し、打者走者の進塁、塁上のプレイに備えるのに相応しいコースで3塁に向かう。

【1塁塁審】

1塁走者がタッグアップ又はハーフウェイの場合、打者走者の追い越しに注意する。

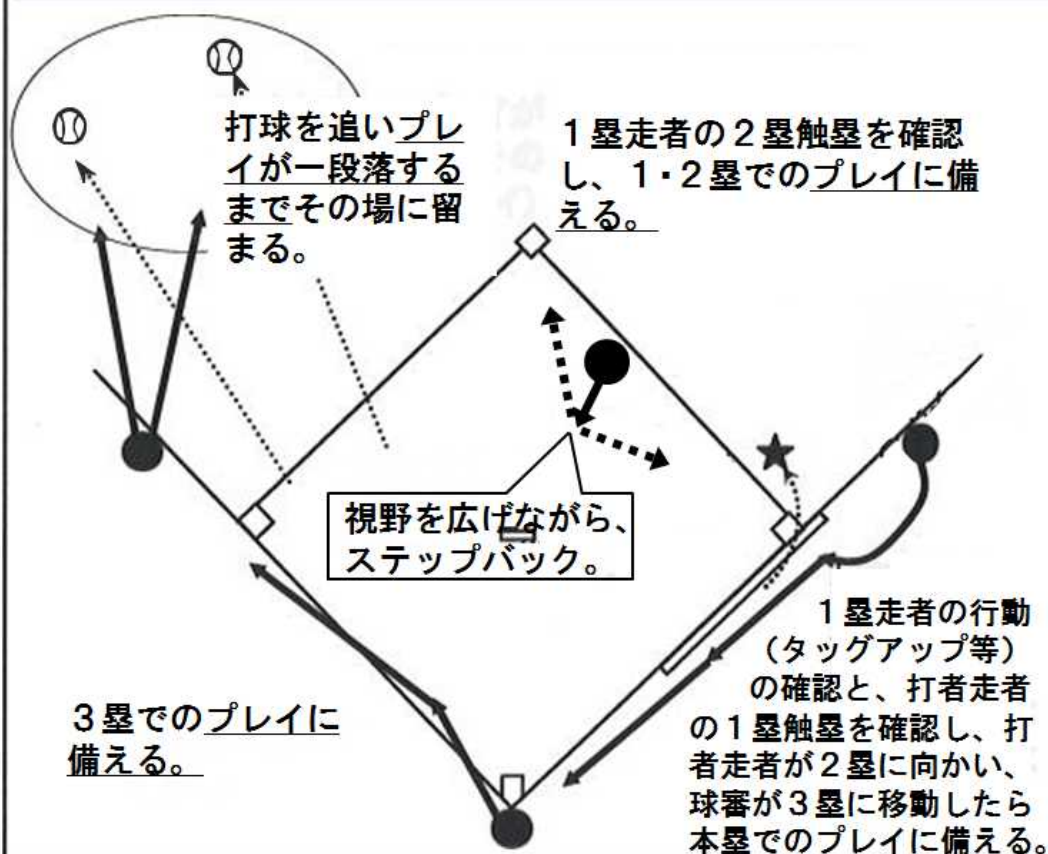
【2塁塁審】

—

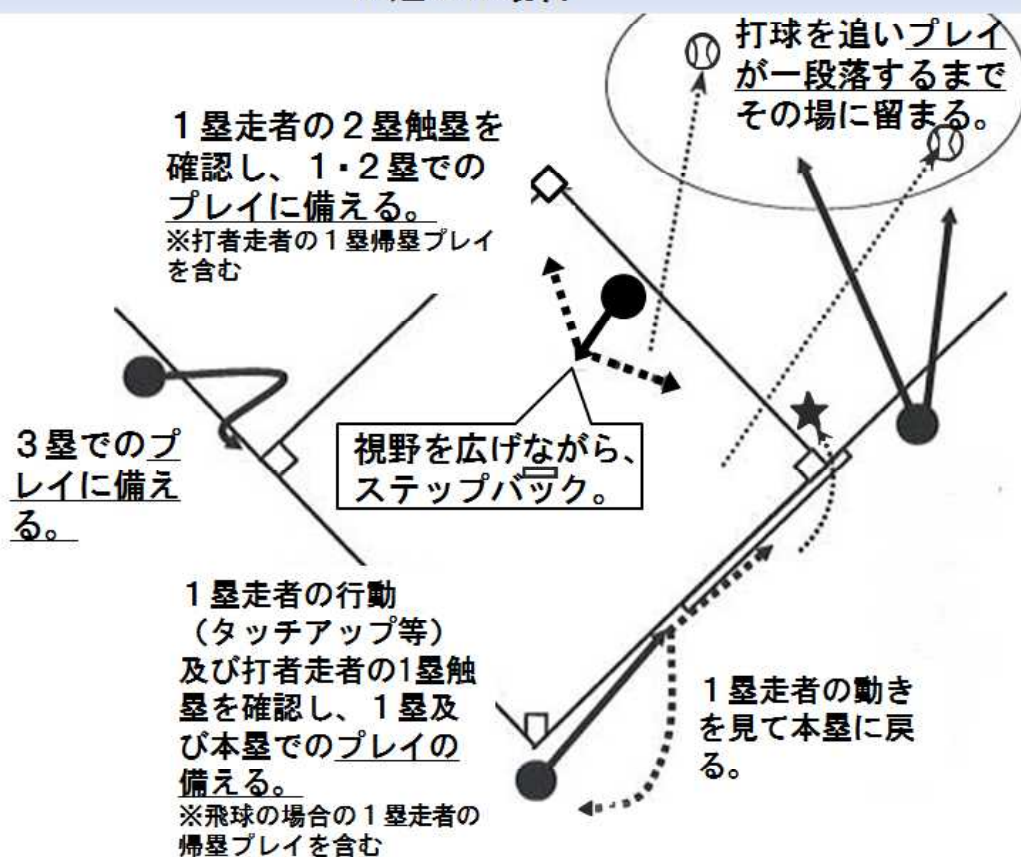
【3塁塁審】

—

④【走者1塁】 中堅手から左側の打球を3塁審判が追った場合



⑤ 【走者 1 塁】 中堅手正面から右側の打球を 1 塁審判が追った場合



◎アドバイス

【主審】
打球の行方と 1 塁走者のタッグアップ又はハーフウェイからの帰塁を確認しながら打者走者の追い越しに注意する。

【1 塁塁審】
—

【2 塁塁審】
主審の動きと同様。

【3 塁塁審】
—

◎アドバイス

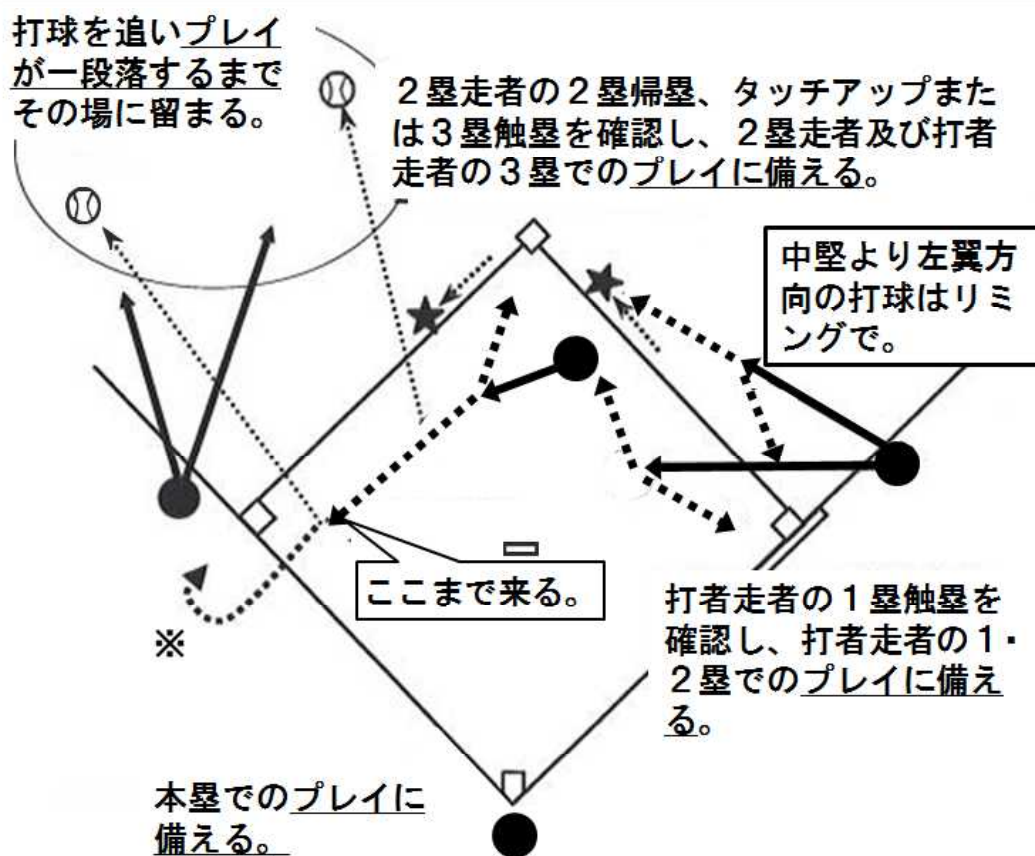
【主審】
打球の行方と 2 塁塁審と 2 塁走者の動きに注目し、特にタッグアップで 2 塁塁審が 3 塁に間に合わない判断した時は、3 塁のプレイに備える。

【1 塁塁審】
2 塁走者がタッグアップの動きを示したときは、2 塁走者のタッチアップ確認を補助的に行うとともに、主審が 3 塁ヘローテーションしたことを想定し、主審の動きも視野に入れながら動く。

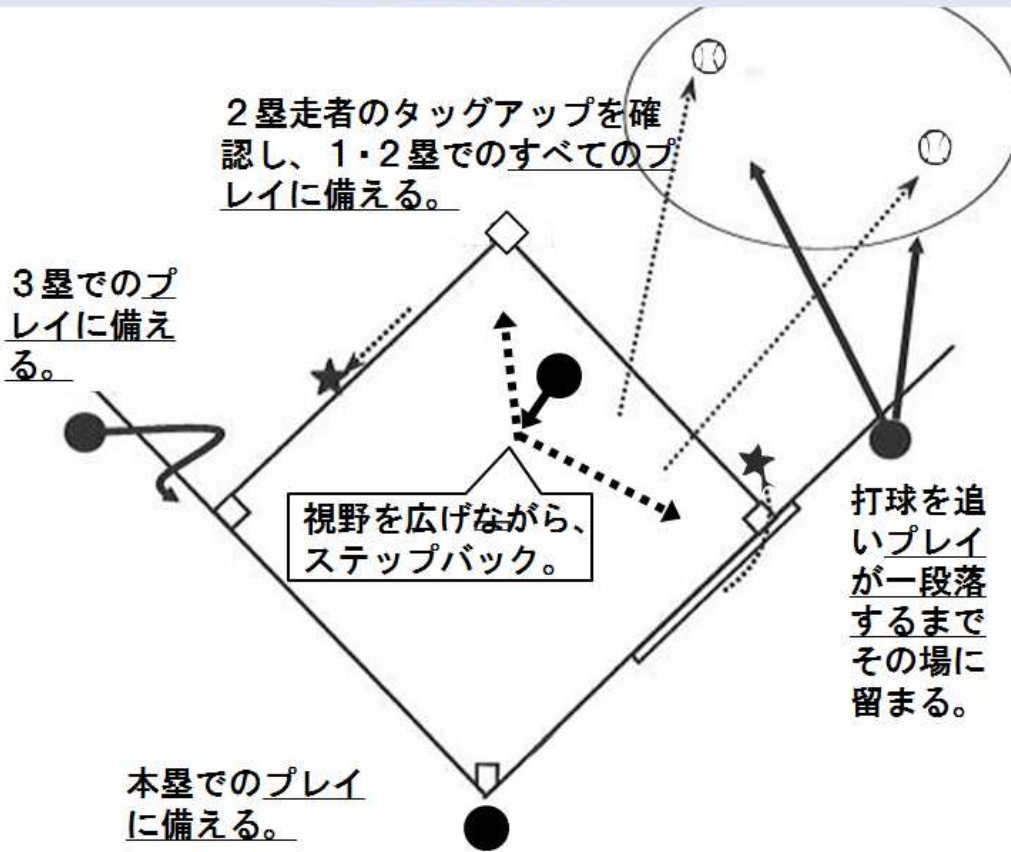
【2 塁塁審】
※ 2 塁走者が本塁到達したのを確認後は、打者走者を 3 塁で待ち受ける。

【3 塁塁審】
—

⑥ 【走者 2 塁】 中堅手から左側の打球を 3 塁審判が追った場合



⑦【走者 2 塁】 中堅手正面から右側の打球を 1 塁審判が追った場合



◎アドバイス

【主審】

打球の行方と打者走者の 1 塁触塁を補助的に確認する。

【1 塁塁審】

—

【2 塁塁審】

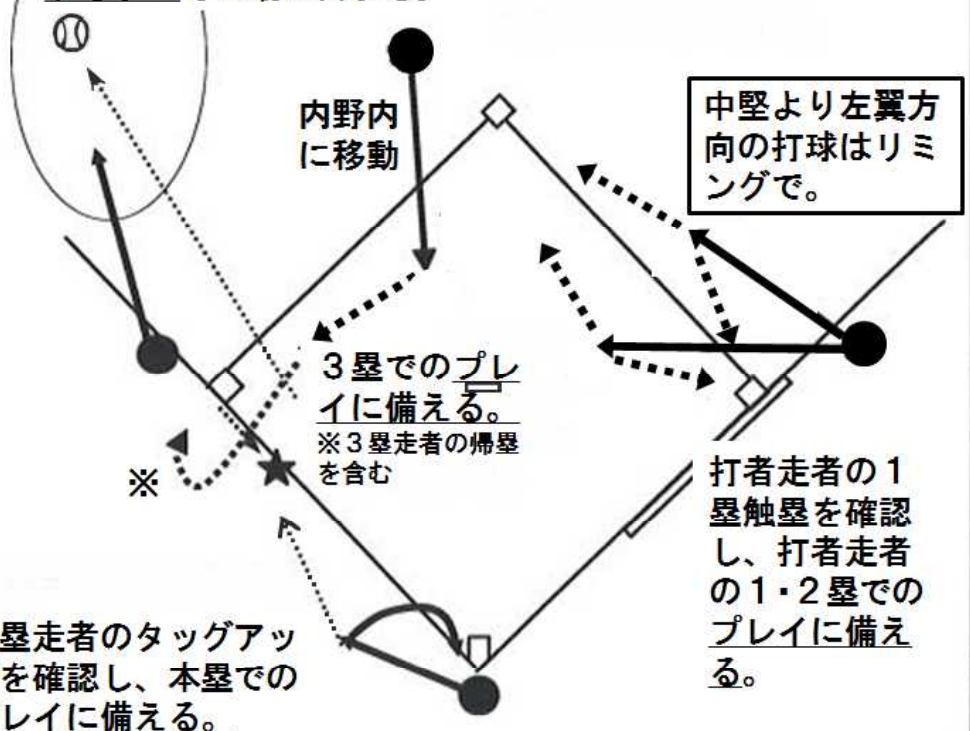
—

【3 塁塁審】

2 塁走者がタッグアップの動きを示したときは、2 塁走者のタッチアップ確認を補助的に行うとともに、打球が 2・3 塁の延長線よりも中堅側に飛んだ場合は、内野内に入りタッグプレイが見やすい位置で待ち受ける。

⑧【走者 3 塁】 左翼手から左側の打球を 3 塁審判が追った場合

打球を追いついてプレイが一段落するまでその場に留まる。



◎アドバイス

【主審】

—

【1 塁塁審】

—

【2 塁塁審】

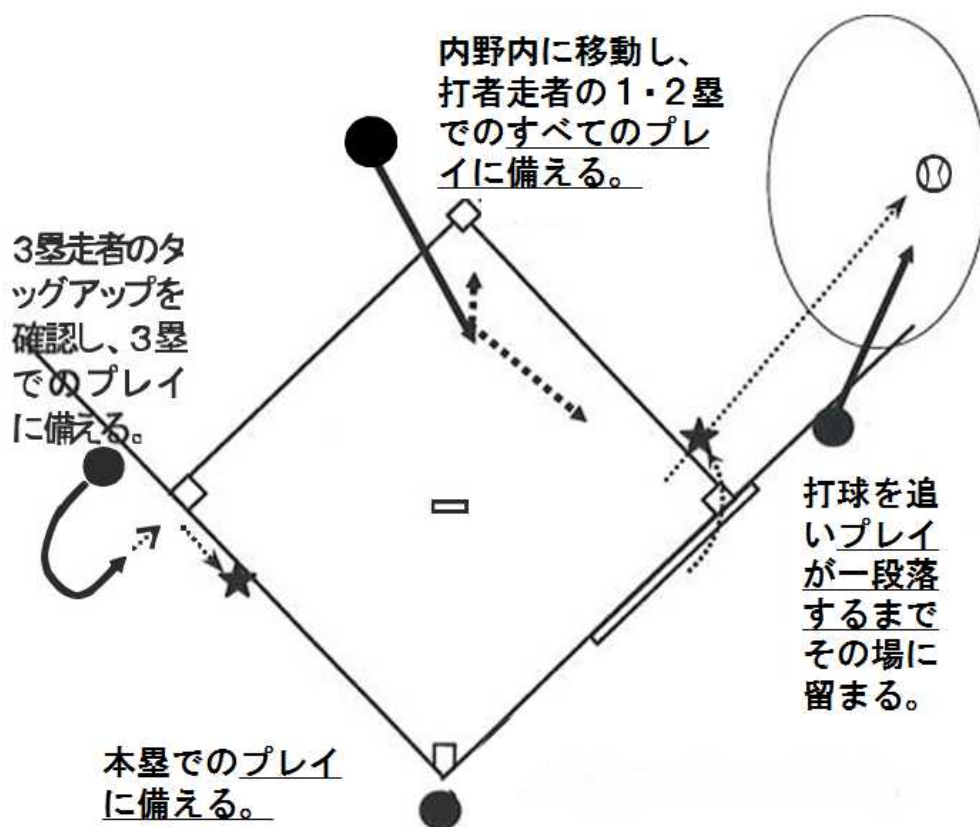
3 塁走者がタッグアップにより本塁へ向かったとしても、状況によっては帰塁することも想定されるため、3 塁ジャッジに走ることを忘れない。

※ 3 塁走者が本塁到達したのを確認後は、打者走者を 3 塁で待ち受ける。

【3 塁塁審】

—

⑨【走者 3 塁】 中堅手正面から右側の打球を 1 塁審判が追った場合



◎アドバイス

【主審】

打球の行方と打者走者の1塁触塁を補助的に確認する。

【1塁塁審】

—

【2塁塁審】

—

【3塁塁審】

打球の行方を見ながら、ボールのある場所に正対することに注意。

◎アドバイス

【主審】

—

【1塁塁審】

—

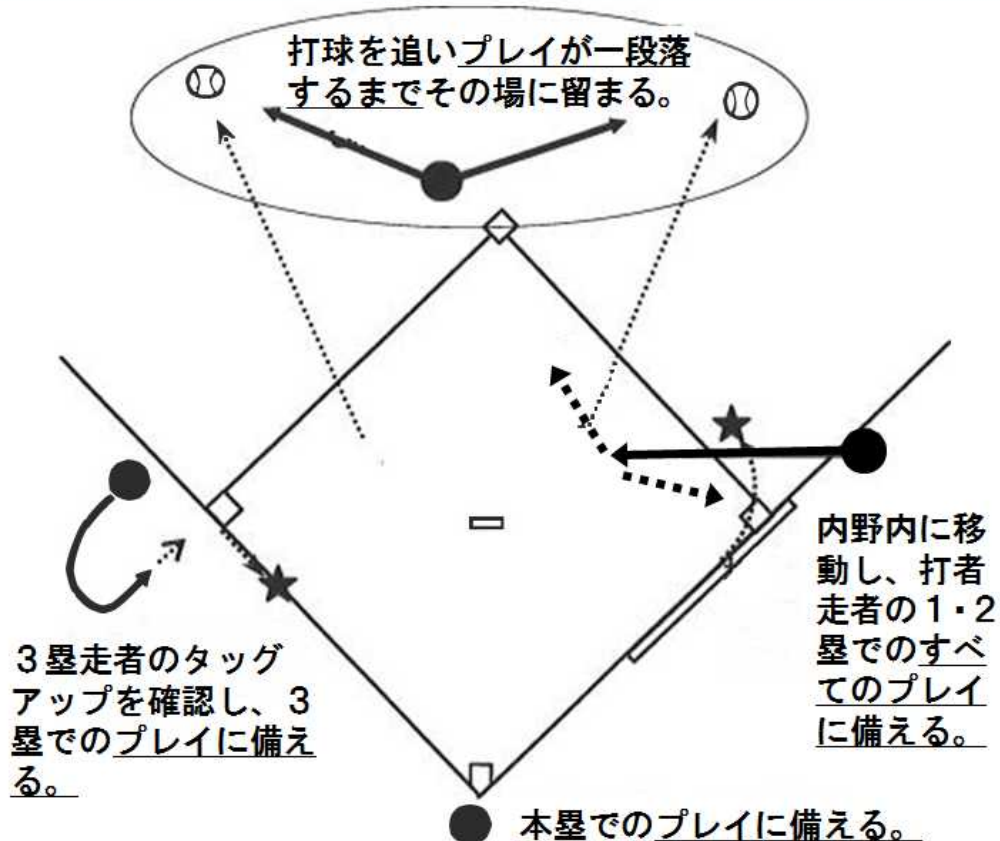
【2塁塁審】

—

【3塁塁審】

打球の行方を見ながら、ボールのある場所に正対することに注意。

⑩【走者 3 塁】 左翼手～右翼手までの打球を 2 塁審判が追った場合



⑪【走者 1・2 塁】中堅手から左側の打球を 3 塁審判が追った場合

打球を追いプレイが一段落するまでその場に留まる。

2 塁走者の 2 塁帰塁、タッチアップまたは 2 塁走者の 3 塁触塁を確認し、3 塁でのプレイに備える。

中堅より左翼方向の打球はリミングで。

1 塁走者のタッグアップまたは 2 塁触塁及び打者走者の 1 塁触塁を確認し、1・2 塁でのプレイに備える。

本塁でのプレイに備える。

◎アドバイス
【主審】

打球の行方と 2 塁塁審と 2 塁走者の動きに注目し、特にタッグアップで 2 塁塁審が 3 塁に間に合わないかと判断した時は、3 塁のプレイに備える。

【1 塁塁審】

2 塁走者がタッグアップの動きを示したときは、2 塁走者のタッチアップ確認を補助的に行うとともに、主審が 3 塁ヘローテーションしたことを想定し、主審の動きも視野に入れながら動く。

【2 塁塁審】

※ 2 塁走者が本塁到達したのを確認後は、1 塁走者と打者走者の 3 塁で待ち受ける。

【3 塁塁審】

—

◎アドバイス

【主審】
打球の行方と打者走者の 1 塁触塁を補助的に確認する。

【1 塁塁審】

—

【2 塁塁審】

—

【3 塁塁審】

2 塁走者がタッグアップの動きを示したときは、2 塁走者のタッチアップ確認を補助的に行うとともに、打球が 2・3 塁の延長線よりも中堅側に飛んだ場合は、内野内に入りタッグプレイが見やすい位置で待ち受ける。

⑫【走者 1・2 塁】中堅手正面から右側の打球を 1 塁審判が追った場合

2 塁走者のタッグアップまたは 1 塁走者の 2 塁触塁を確認し、1 塁走者（帰塁を含む）及び打者走者の 1・2 塁でのすべてのプレイに備える。

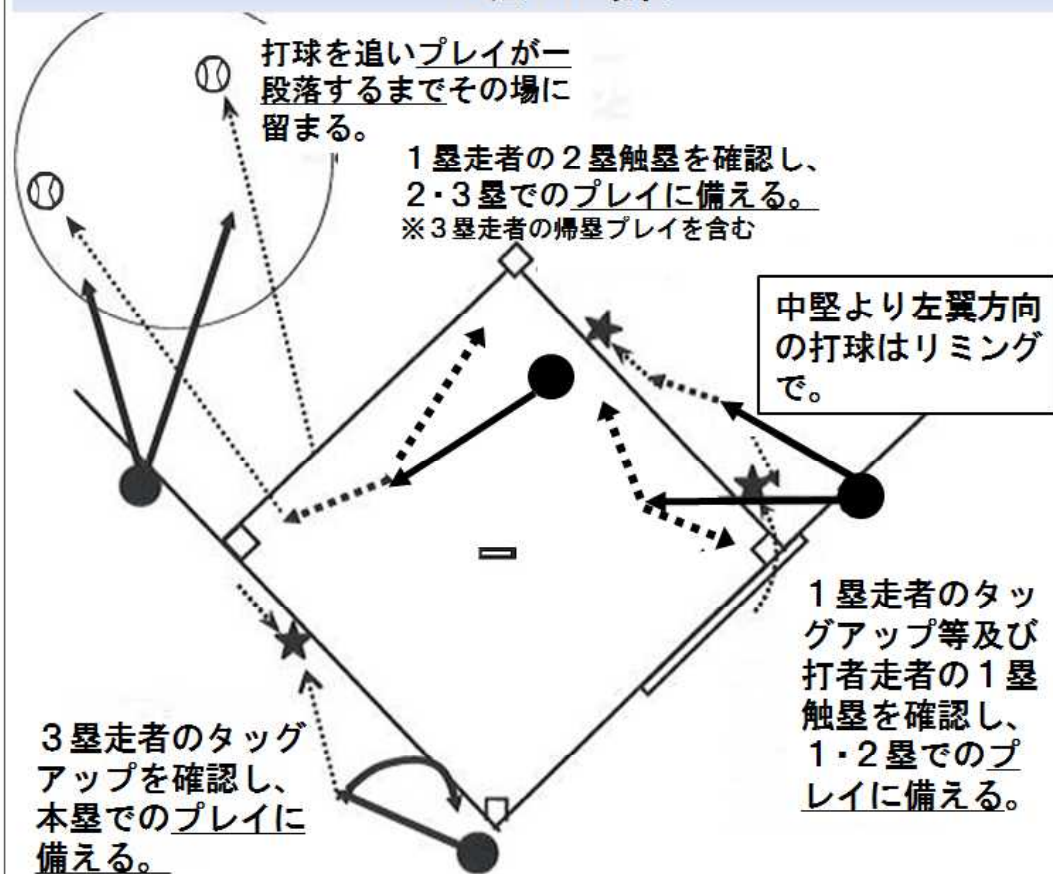
3 塁でのプレイに備える。

視野を広げながら、ステップバック。

1 塁走者のタッグアップまたは打者走者の 1 塁触塁を確認し、本塁に戻り、本塁でのプレイに備える。

打球を追いプレイが一段落するまでその場に留まる。

⑬【走者 1・3 塁】 中堅手から左側の打球を 3 塁審判が追った場合



◎アドバイス
【主審】
—

【1 塁塁審】
—

【2 塁塁審】
—

【3 塁塁審】
—

◎アドバイス
【主審】

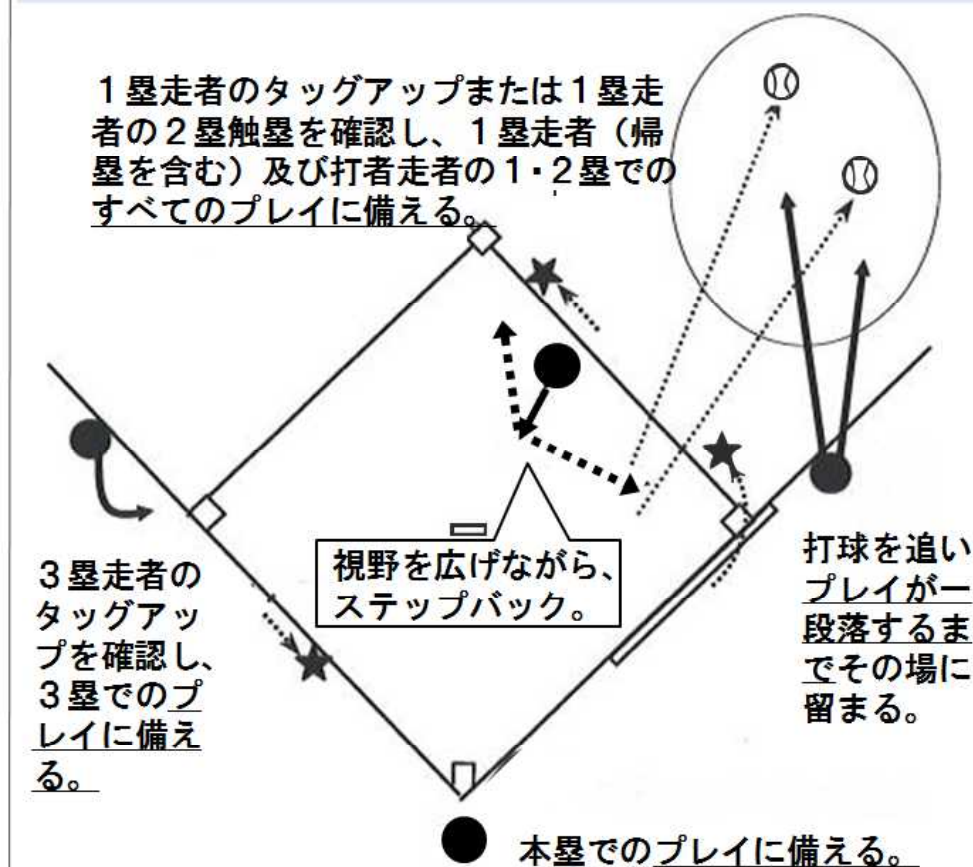
打球の行方と打者走者の 1 塁触塁を補助的に確認する。

【1 塁塁審】
—

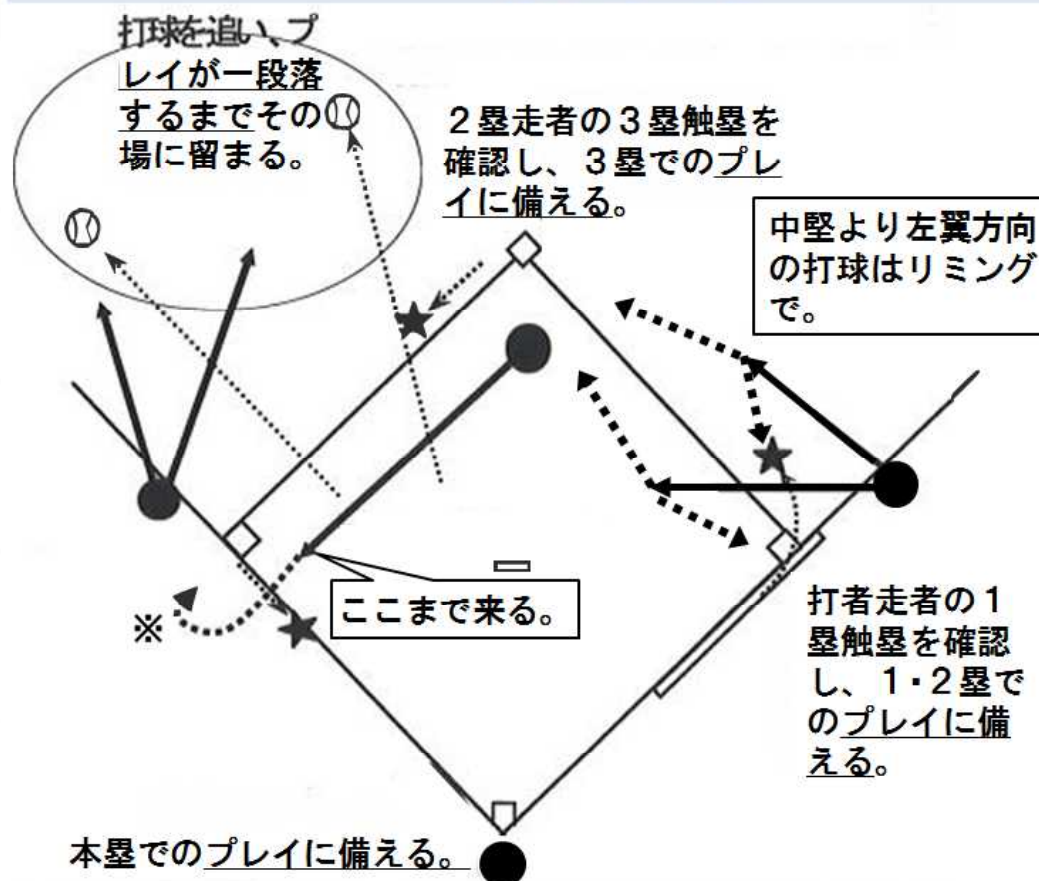
【2 塁塁審】
—

【3 塁塁審】
打球の行方を見ながら、ボールのある場所に正対することに注意。

⑭【走者 1・3 塁】 中堅手正面から右側の打球を 1 塁審判が追った場合



⑮-1 【走者 2・3 塁】 中堅手から左側の打球を 3 塁審判が追った場合



◎アドバイス
【主審】

【1 塁塁審】
2 塁走者がタッグアップの動きを示したときは、2 塁走者のタッチアップ確認を補助的に行う。

【2 塁塁審】
※ 2 塁走者が本塁到達したのを確認後は、打者走者を 3 塁で待ち受ける。

【3 塁塁審】

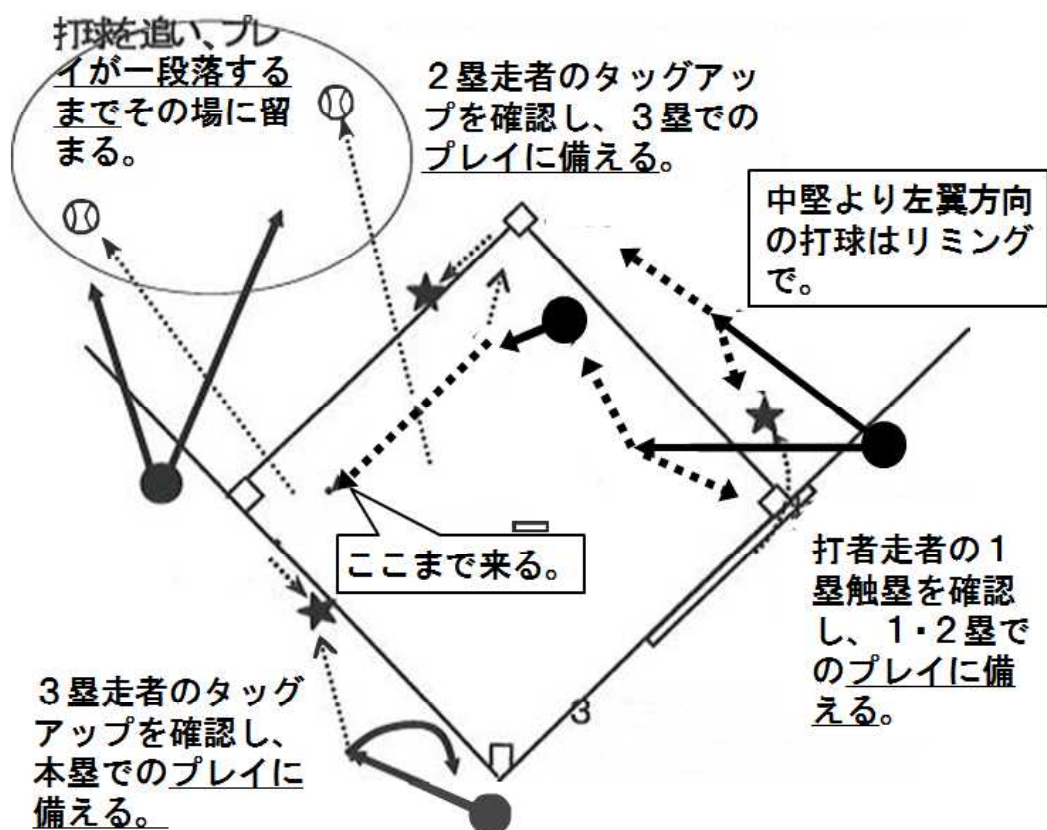
◎アドバイス
【主審】

【1 塁塁審】
2 塁走者がタッグアップの動きを示したときは、2 塁走者のタッチアップ確認を補助的に行う。

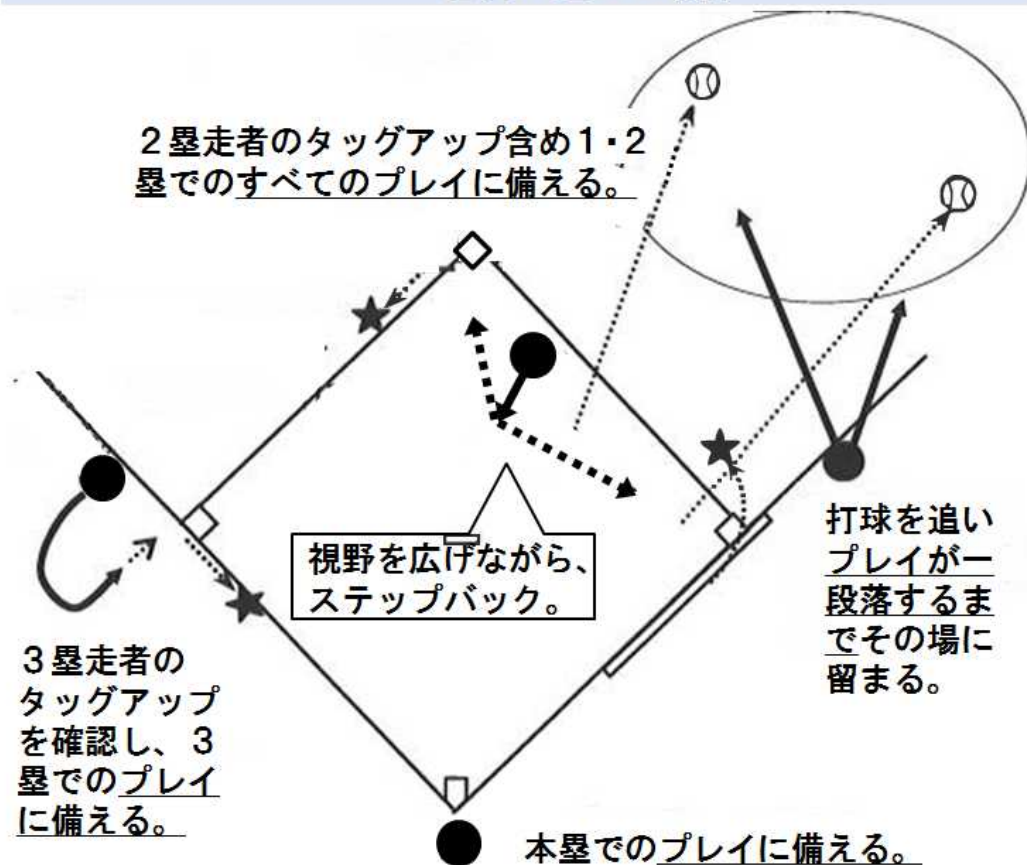
【2 塁塁審】

【3 塁塁審】

⑮-2 【走者 2・3 塁】 中堅手から左側の打球を 3 塁審判が追った場合(タッグアップ)



①⑥ 【走者 2・3 塁】 中堅手正面から右側の打球を 1 塁審判が追った場合



◎アドバイス

【主審】

打球の行方と打者走者の 1 塁触塁を補助的に確認する。

【1 塁塁審】

—

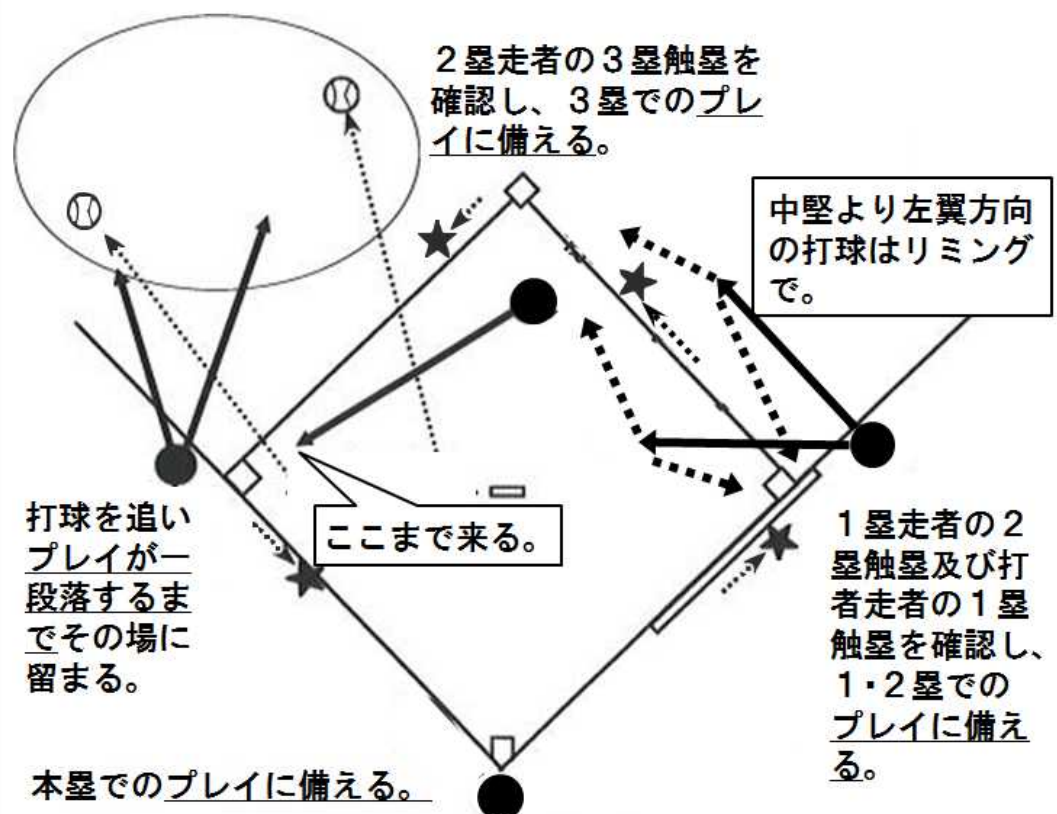
【2 塁塁審】

—

【3 塁塁審】

打球の行方を見ながら、ボールのある場所に正対することに注意。

①⑦-1 【走者満塁】 中堅手から左側の打球を 3 塁審判が追った場合



◎アドバイス

【主審】

—

【1 塁塁審】

—

【2 塁塁審】

—

【3 塁塁審】

—

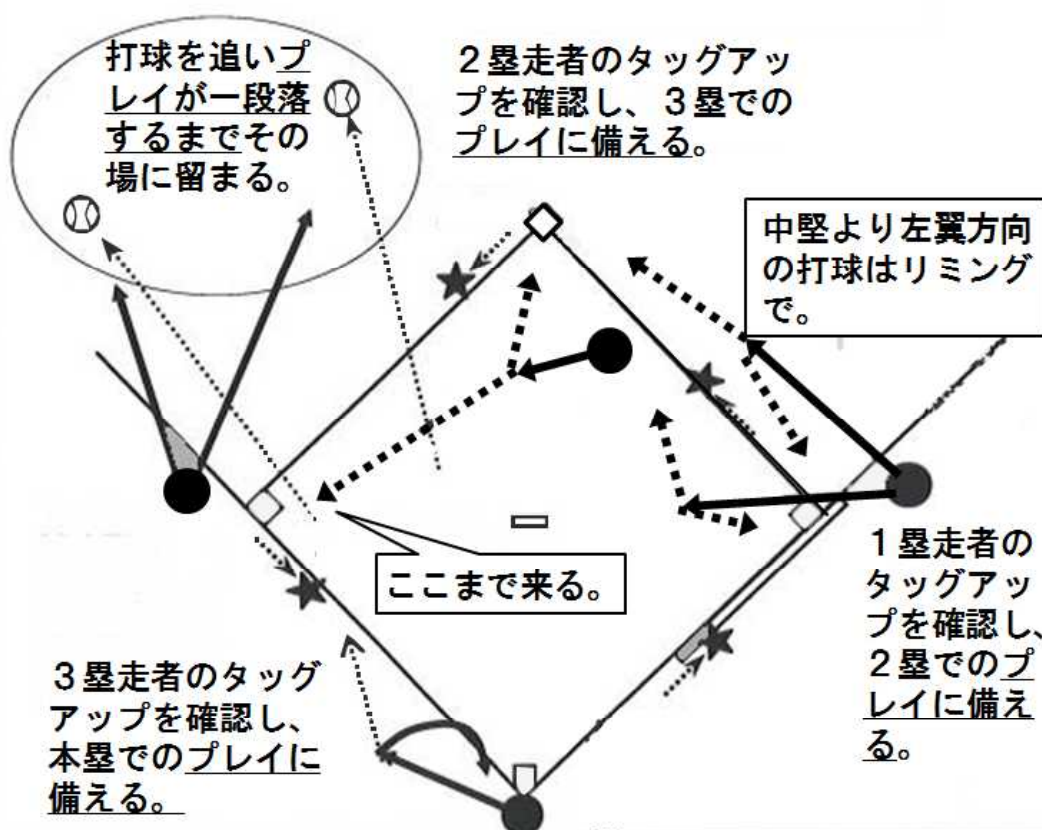
⑪-2 【走者満塁】 中堅手から左側の打球を3塁審判が追った場合（タッグアップ）

◎アドバイス
【主審】

【1塁塁審】
2塁走者がタッグアップの動きを示したときは、2塁走者のタッチアップ確認を補助的に行う。

【2塁塁審】
2塁走者がタッグアップの動きを示したときは、速やかにマウンド方向に向かい、ステップバックし、広い視野で2塁のタッグアップを確認するとともに3塁でのプレイを待ち構える。

【3塁塁審】



⑪ 【走者満塁】 中堅手正面から右側の打球を1塁審判が追った場合

◎アドバイス
【主審】

打球の行方と打者走者の1塁触塁を補助的に確認する。

【1塁塁審】

【2塁塁審】

【3塁塁審】
打球の行方を見ながら、ボールのある場所に正対することに注意。

